

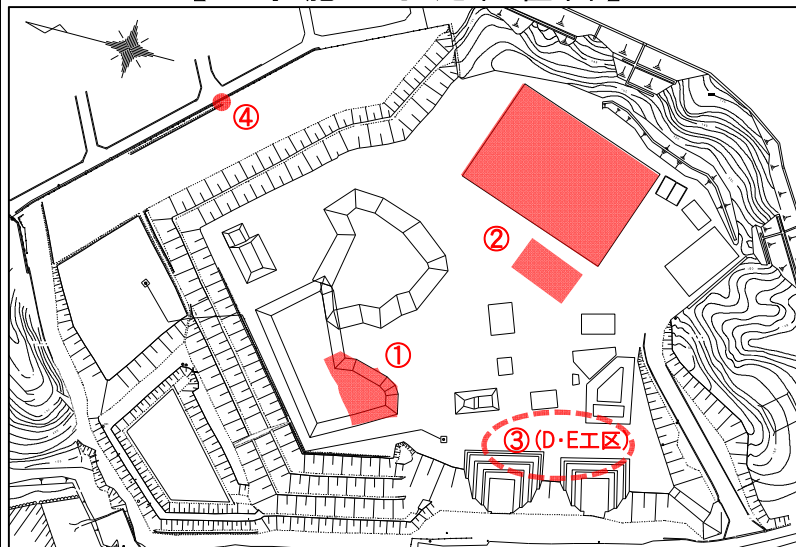
《旧RD最終処分場二次対策工事 工事情報 第53号 をお知らせいたします》

作成日：平成27年2月23日

日付	施工実績														施工予定								備考
	平成27年2月														平成27年3月								
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	日	月	火	水	木	金	土	日	
工種・作業内容	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	1	2	3	4	5	6	7	8		
廃棄物土・有害物掘削工																							
①選別土仮置・盛土工																							
仮置土移動																							
廃棄物選別工																							
②選別処理工																							
一次選別																							
機械選別																							
汚染地下水拡散防止対策工																							
③事前調査ボーリング工																							
D・E工区																							
④モニタリング設備工																							
モニタリング井戸設置工																							
井戸設置																							

休
工
現
場
見
学
会

【工事施工予定位置図】



【工事施工状況写真】

撮影日：平成27年2月20日



② 選別処理施設工(一次選別)

廃棄物土の中から比較的大きな廃棄物を選り分けています。



③ 事前調査ボーリング工

D・E工区にて、ボーリング調査(No.10-12)を行っています。



④ モニタリング設備工

観測井戸H25-S2、H25-S2(2)の土質調査を行っています。

【お知らせ】

《騒音・振動・粉じん・臭気自動計測の週間結果報告》

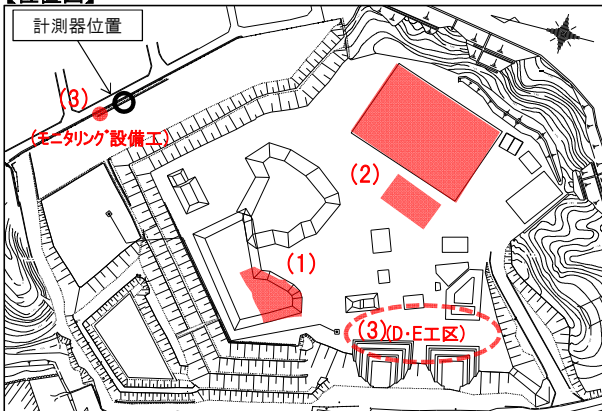
(報告対象期間:2月13日~2月19日)

【概要】

二次対策工事による周辺環境への影響を調査するために、旧RD最終処分場と隣接する住宅地との境界に計測器を設置し、「騒音・振動・粉じん・臭気」を連続自動計測しています。

各項目の1週間分の計測結果をグラフにしました。
※網掛け部は休工の時間帯(休日および夜間)です。

【位置図】



【測定値管理基準】

	騒音	振動	粉じん	臭気
第1管理値	基準値の90%	基準値の90%	基準値の90%	10(センサー値)
第2管理値	基準値	基準値	基準値	参考値
基準値	85dB 栗東市の特定建設作業(騒音)に係る規制基準	75dB 栗東市の特定建設作業(振動)に係る規制基準	0.2mg/m ³ 環境省『大気汚染に係る環境基準』の「環境上の条件・浮遊粒子状物質」記載基準	10(硫化水素臭などの異臭) 草津市「臭気指数規制基準 第1種地域 敷地境界線(第1号)」記載基準

第1管理値を超過した場合

騒音 振動 粉じん	作業を一旦中断し注意喚起した後、警戒しつつ作業を行います
臭気	作業を一旦中断し、現場の監督員が直接臭いを確認します

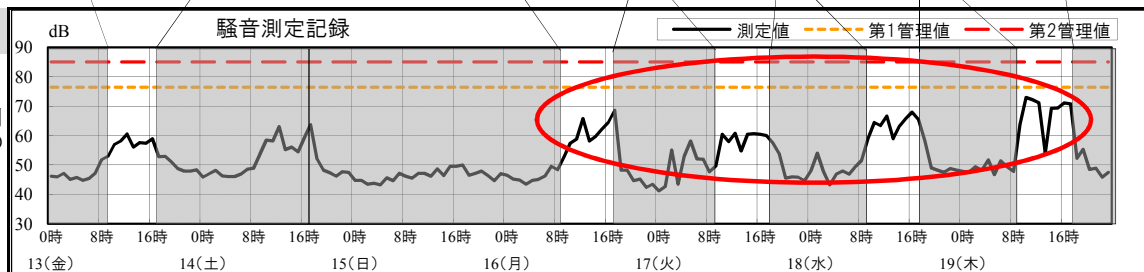
第2管理値を超過した場合

騒音 振動 粉じん	直ちに作業を中断し、周辺7自治会長に連絡し原因究明後、対策を講じ作業を再開します
臭気	臭いの確認により硫化水素臭などの異臭がした場合には、直ちに作業を中断し、周辺7自治会長に連絡し対策を講じたうえで作業を再開します

主な実施作業内容	平成27年2月					備考	
	13 金	14 土	15 日	16 月	17 火		18 水
廃棄物土・有害物掘削工							
(1)選別土仮置・盛土工 仮置土移動	仮置土移動						
廃棄物選別工							
(2)選別処理施設工 機械調整					試運転		
汚染地下水拡散防止対策工							
(3)事前調査ホーリング工 D・E工区 モニタリング設備工							事前調査ホーリングNo.10-9~10-12、観測井戸H25-S2 H25-S2(2)

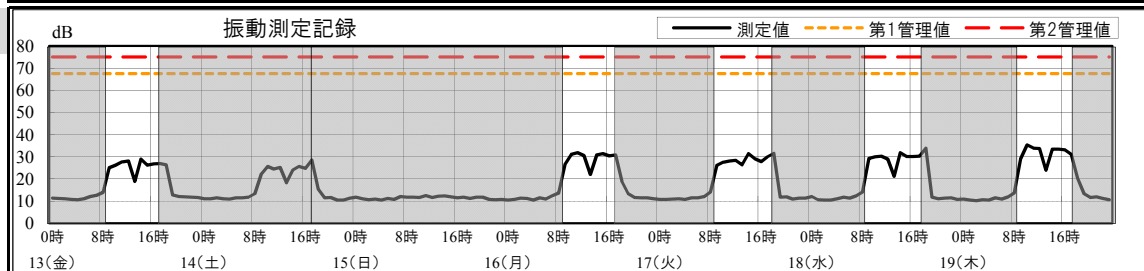
【騒音】

16日以降、工事時間帯において、騒音値が60~70dBとなっています。これは、計測器のすぐ近くで、モニタリング井戸設置工の作業音が影響しています。



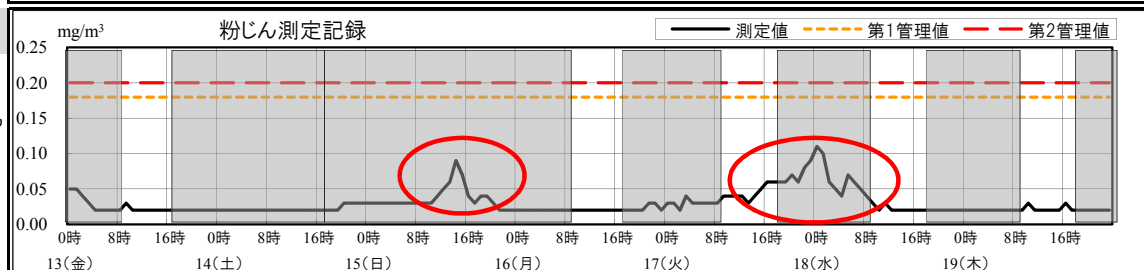
【振動】

(特になし)



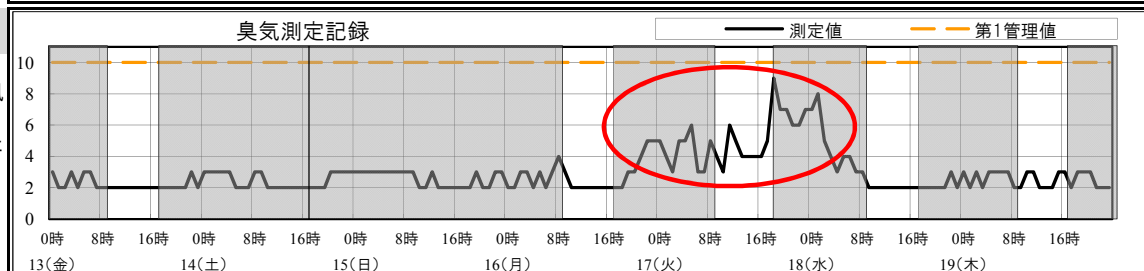
【粉じん】

工事時間帯外に粉じんの測定値が上昇しています。これについてはPM2.5による影響も考えられます。



【臭気】

16日20時から18日1時の間、値が上昇しています。この間は南南東から東南東の風が吹いており、これらの湿った空気により上昇したと考えられます。なお、値が上昇した後は雨が降っていました。



今後も、高い値を観測した際は、現地での調査と、天候との関係を注視していきます。